



真龍小便い

【学校の教育目標】

- ☆心と体をきたえる子
- ☆美しい心をもつ子
- ☆考えて行動する子
- ☆生き生きと学ぶ子

No. 4 令和元年5月29日発行

スマホが学力を破壊する

校長 武田 昌彦

少々刺激的なタイトルですが、昨年度同様の内容で町P連の講演がありました。子ども達にはぜひその危険を知ってほしく、スマホが脳へ与える影響について研究している東北大学の川島教授の研究の一部をお借りし、昨年5・6年生（現中1・小6）に授業をしました。

高学年は、ほぼ全員何らかの形でスマホを使用しているようです。所持率も高く、自由に使用できる実態もありました。そこで、使い方と危険性について考えてもらうために授業を行いました。「家庭学習を毎日3時間して、毎日3時間スマホを使っている子」と、「家庭学習はしないが、スマホも使わない子」を比べた場合、「毎日3時間も勉強している子よりも、全く家庭学習をしていない子の方が成績が良かった」という内容を取り上げました。スマホを使っている時間が、学習にもものすごく影響を及ぼしているという内容でした。また、「ゲームを行っているとき、集中しているように見えても、脳への刺激はあまりなく、脳はほぼ活動していないく、脳が使われていない状態になっている。」など、子ども達にとってショックな内容でもありました。加えて、スマホ等から出るブルーライトの影響も説明しました。大人に比べて、成長期の子ども達にどれだけ影響が大きいのかということから、学力低下やゲーム・スマホ依存について考える機会になればという思いから授業を行いました。

授業後の子ども達の感想には、「使い方に気をつける。」「夜遅くは使わない。」「時間を短くする。」などと書かれている内容が多く、「危険があることを初めて知った。」という言葉もありました。「知らないということがいかに危険か」ということを感じました。危険を知った子が感想に書いたように、自分をしっかりコントロールしていけるかが、これから気がかりなところ です。

これを機会に、家でのルールについて再確認し、新たなルール作りをしてほしいと思います。子ども達も「分かっているんだけど…」という場面では、ご家庭でぜひ指導していただきたいと思います。

川島教授の新しい研究で、ビデオゲーム（画面がある電子機器のゲーム）が脳に与える影響について、5歳から18歳（平均11歳）の子ども達を対象に行ったものがあります。3年後、脳がどの様になっているかを研究したところ、ゲームが習慣化していた子は成長期にも係わらず、言語性知能に変化が見られず（脳が成長していない）、脳の体積にも変化が少なかったそうです。さらに、原因や影響も研究しているのですが、なんだか怖くなりました。

子どもは年齢によって成長課題があります。小学生の土台づくりの時期に、しっかりしたものをつくっていきたいです。

安心・安全メールについて

「安心・安全メール」の登録へのご協力ありがとうございます。現在の登録率は80%です。登録率が100%に近づくと、臨時休校などの緊急の連絡を連絡網を使わずにお知らせすることが可能になります。可能なご家庭は、ぜひ登録をお願いいたします。昨年度まで使用していた「まちこみメール」からメールが届くことはありませんので、ご了承ください。

6月の主な行事

1	土	
2	日	
3	月	朝会(講話) 運動会特別時間割
4	火	眼科検診 町P連総会
5	水	運動の日
6	木	短縮日課 運動会座席希望〆切り 4年校外学習(厚岸消防署)
7	金	耳鼻科検診(1・4年)
8	土	
9	日	
10	月	グラウンド少年団使用禁止(~22日) PTA会費納入開始
11	火	短縮日課 係活動①
12	水	運動会全体練習①
13	木	読み聞かせ(中休み) 運動会座席抽選
14	金	短縮特別日課 係活動② 応援練習(中休み)
15	土	
16	日	
17	月	短縮日課 時数確保日 運動会全体練習② 係活動②
18	火	短縮日課
19	水	運動会総練習
20	木	PTA会費納入日 総練習予備日 生きがい大学
21	金	短縮日課 係活動④ 運動会会場設営
22	土	運動会自由席開放(18時)
23	日	運動会
24	月	振替休業日
25	火	短縮日課 体力テスト スクールカウンセラー来校
26	水	校外学習(3年:あやめヶ原) 校外学習(4年:水鳥観察館) 街頭指導 体力テスト(中・昼休み~28日)
27	木	心臓検診(1年)
28	金	短縮日課 委員会
29	土	
30	日	

※行事は現時点での予定です。各学年便りでも改めてご確認ください。

令和元年度 大運動会

6月23日(日) ※雨天順延

△児童登校 8:15
△児童入場 8:50
△開会式 9:00

来週から特別時間割が始まり、どの学年も運動会に向けた練習が本格的に始まります。学校の二大行事である運動会は、多くの子ども達とご家庭の皆様にとって、楽しみにしていただいている行事かと思えます。

走るのが速い子、力がある子、作戦を立てるのが得意な子、巧みな動きができる子、応援団として活躍する子、係の仕事をしっかりと行う子など、それぞれの子ども達の良さをたくさん見つけたり、伸ばしたりすることができる運動会までの取り組みは、学校としても特に力を入れているところです。

運動会の種目は様々あり、伝統的に続いているもの、年度ごとに内容を変えて取り組んでいるものがあります。本校では、スタンプをはじめ、どの種目も安全面に十分配慮した上で、「ねらい」をはっきりとさせて、練習に取り組んでいきます。運動会当日の勝ち負けは関心の高いところではありますが、それ以上に運動会当日までの日々の取り組みの過程を何よりも大切にして、「笑顔で登校 笑顔で下校」できるように取り組んでいきます。

運動会の練習が続くと、子ども達に疲れが少しずつたまっていくかと思えます。子ども達が万全な体調で運動会に臨めるよう、引き続き、ご家庭での十分な「休養・睡眠・栄養」をお願い致します。



◆避難訓練◆

17日(木)は火事を想定した避難訓練を行いました。また、学年ごとに、津波を想定したコンキリエへの避難訓練も随時行っています。どちらも、万一の災害時などに備え、命を守るための大事な訓練です。「家にいる時に、地震・火災・津波などが起こってしまった場合はどうするか」ということについて、ご家庭でもお子さんと約束を決めておいてください。



◆真龍小学校児童会◆

- | | |
|----------|--------|
| ☆学級代表委員長 | 石川 依吹 |
| ☆美化委員長 | 眞鍋 快都 |
| ☆新聞委員長 | 坂井 大羅 |
| ☆保健委員長 | 奥谷 豪輝 |
| ☆体育委員長 | 横井 彪人 |
| ☆放送委員長 | 大山 くるみ |
| ☆生活委員長 | 羽生 陽和 |
| ☆図書委員長 | 中村 友哉 |

4～6年生の全員が委員会に所属し、今年度の活動計画を立てました。17日(金)の児童総会では、各委員会の活動内容に対して、各学級から質問や意見がたくさん出されました。また、その意見などに対する各委員長の受け答えも大変立派でした。「自分たちの学校生活がより良くなるために工夫していきたい。」という思いをもっている子ども達が多いのは、うれしいことです。真龍小学校の中心となって、この1年間活躍してくれそうです。



送迎の約束

送迎の約束

路上に駐車して、乗り降りさせないでください。

児童玄関付近は、スクールバスや給食車が出入りするため、**駐停車禁止**です。

児童の安全確保のため、このエリアには**駐車しないでください**。

一時停止！

！お願い！

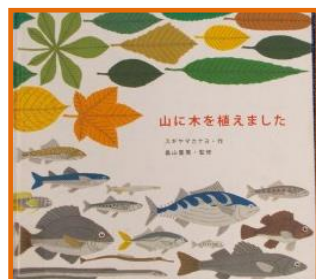
送迎の際は、児童の安全を最優先にし、**徐行運転と安全確認のための一時停止**をお願いします。

△朝、車で送る時は、外物置側に一列に停車し、横断歩道前でお子さんを降ろして、必ず横断歩道を渡らせてください。**先頭車のみ**お子さんを降ろしてください。

△帰りのお迎えで駐車場に車を停める場合は、児童玄関までお子さんをお迎えに来てください。駐車場内でのお子さんの乗り降りに十分お気をつけください。

本校では、子ども達の安全面を最優先に考え、上記を「送迎の約束」とさせていただいております。ご家庭の皆様にとっては、ご不便と感じる部分もあるかとは思いますが、ご理解の上、何卒ご協力をお願いいたします。

おすすめ 本紹介



『山に木を植えました』 【スギヤマカナヨ作 畠山重篤・監修 講談社発行】

今年も6月2日に「厚岸町民の森植樹祭」が開催されます。「森は海の恋人」を合言葉に、町民600人以上が参加し、原野に植林するイベントです。厚岸漁業協同組合の婦人部の方々が始めた山に木を植える運動が大きく育ちました。なぜ、山とは全然関係のない漁師さんたちが山に木を植えるのか、山に木を植えると海がどうなるのか？その仕組みをわかりやすく書いたのがこの本です。「森は海の恋人」という言葉を考えたのが、宮城県気仙沼市でカキとホタテの養殖をやっている漁師で、この本の監修者、畠山重篤さんです。木々が豊かに茂った山の森で作られる養分を、川が海に運び、海の森を育てる。海の森が育つと、魚が増え、カキやアサリなどの貝も増える。山も川も海も、そして、植物も動物も人間も、その命はみんなつながっているということがよくわかります。仕掛け絵本のようにしているので、楽しみながら自然の仕組みや環境について学ぶことができます。この本のキーワードにもなっている「フルボさん」すぐろくも付いているので、ぜひ、お子さんと一緒にやってみてください。学校図書室と厚岸情報館に所蔵があります。

<担当:学校司書 小島郁子>